

# ANTENNA

## 第1回全統高1模試

全国39,028名の高1生を集めて実施された第1回全統高1模試の成績結果をここにお届けします。この結果をもとに夏休み以降の学習に十分活用してください。

今回は実施時期を考慮して、各教科における基本事項がどの程度理解されているかの確認を中心に出题しました。問われている内容は、最終目標である入試問題を解く際の基礎力と言えますので、もう一度よく復習しておいてください。

また、各教科・科目ごとのポイントとなった問題の解説は「学習対策」に掲載されていますので、熟読して今後の学習に役立ててください。

### 《次回実施のご案内》

次回全統模試のご案内につきましては、こちらをご確認ください。

[www.kawai-juku.ac.jp/zento/](http://www.kawai-juku.ac.jp/zento/)

スマートフォンの方はこちら



## も く じ

《全統模試見直しシート》	2
《これが今回の模試の結果だ》	
個人成績表の見方	3
・あなたの成績と比較しよう	
総合成績表・科目別成績表	5
・どの設問で差がついたか確認しよう	
教科科目別設問別成績表	6
小問(単位問)別平均点	7
《弱点克服のためにもう一度見直そう》	
学習対策	9
英語	9
数学	9
国語	10
《採点に関する問い合わせについて》	11
《お問い合わせ先一覧》	13

※本冊子の編集内容の無断転載・複製を禁止します。

## 全統模試 見直しシート

## STEP 1

個人成績表「1. 成績概況」を確認し、受験した教科・科目と偏差値を書き込みましょう。

## STEP 2

個人成績表「2. 設問別成績」の、あなたと同じ学力レベル層や、第1志望校の一段階上の判定者との成績比較で差がついた設問を確認し、弱点となっている分野を書き込みましょう。

## STEP 3

弱点分野を中心に、「学習の手引き」や本冊子の「学習対策」、模試ナビの解説講義動画などを確認し、今回の模試の反省点と、今後の具体的な対策（何を、いつまでにやるのか）を書き込みましょう。

## STEP 4

個人成績表「3. 志望校別成績・評価」を参考に、次回の模試の目標得点を書き込みましょう。

STEP 1		STEP 2	STEP 3		STEP 4
教科・科目	偏差値	弱点分野	今回の反省点	今後の対策	次回の目標得点
(例) 英語	52.1	文法・語法	基本的な文法の理解ができていない	次回の模試までに文法集の11～30ページをノートにまとめて復習する	55.0



# 模試ナビ

河合塾 全統模試学習ナビゲーター



模試ナビは、Web上で全統模試の復習や成績確認などができるサービスです

利用料無料



河合塾講師によるわかりやすい解説講義動画が視聴可能！  
間違えた問題は必ずチェックして理解を深めよう。



詳しい学習アドバイスやライバルとの差をつける追加問題など、模試ナビだけのコンテンツも多数閲覧できます。

詳しくはこちらから  
[www.kawai-juku.ac.jp/zento/moshi-navi/](http://www.kawai-juku.ac.jp/zento/moshi-navi/)

# 個人成績表の見方

各項目について、詳しくはP.4をご確認ください。

## 1. 成績概況

自分の学力状況や全国での位置づけを確認しましょう

- 各科目の得点や偏差値、順位、平均点などを表示しています。

教科・科目	あなたの得点 / 配点	偏差値	学力レベル	平均点			順位(全国偏差値による)						
				あなた	校内	全国	あなた	校内	全国				
英語	165 / 200	72.3	S	87.3	2398	114516	93.4	417	10188	68.9	103.0	12	220
総合	111 / 200	57.1	B	84.1	29576	113971	80.8	2470	9942	65.2	62.5	21	220
数学	80 / 150	55.7	B	63.0	33979	113971	60.4	2769	9942	62.9	49.1	27	220
必須問題	31 / 50	58.7	B	21.2	24702	113513	20.5	2229	9889	66.5	13.5	20	219

## 全統高1模試 個人成績表 第1面【秘】

教科・科目	あなたの得点 / 配点	偏差値	学力レベル	平均点			順位(全国偏差値による)						
				あなた	校内	全国	あなた	校内	全国				
英語	165 / 200	72.3	S	87.3	2398	114516	93.4	417	10188	68.9	103.0	12	220
総合	111 / 200	57.1	B	84.1	29576	113971	80.8	2470	9942	65.2	62.5	21	220
数学	80 / 150	55.7	B	63.0	33979	113971	60.4	2769	9942	62.9	49.1	27	220
必須問題	31 / 50	58.7	B	21.2	24702	113513	20.5	2229	9889	66.5	13.5	20	219

内容	あなたの得点 / 配点	校内平均点	あなたと同じ学力レベル層との成績比較		
			平均点	差	偏差値の差
1 リスニング	17 / 20	7.5	8.7	-1.2	-0.8
2 読みの理解	12 / 20	7.8	8.7	-0.9	-0.9
3 文法	22 / 30	12.3	13.3	-1.0	-0.9
4 英文	33 / 40	18.3	22.8	-4.5	-4.5
5 長文総合読解	45 / 50	24.1	29.7	-5.6	-5.6
6 長文総合読解	36 / 40	17.7	19.8	-2.1	-2.1

内容	あなたの得点 / 配点	校内平均点	あなたと同じ学力レベル層との成績比較		
			平均点	差	偏差値の差
1 リスニング	17 / 20	7.5	8.7	-1.2	-0.8
2 読みの理解	12 / 20	7.8	8.7	-0.9	-0.9
3 文法	22 / 30	12.3	13.3	-1.0	-0.9
4 英文	33 / 40	18.3	22.8	-4.5	-4.5
5 長文総合読解	45 / 50	24.1	29.7	-5.6	-5.6
6 長文総合読解	36 / 40	17.7	19.8	-2.1	-2.1

内容	あなたの得点 / 配点	校内平均点	あなたと同じ学力レベル層との成績比較		
			平均点	差	偏差値の差
1 リスニング	17 / 20	7.5	8.7	-1.2	-0.8
2 読みの理解	12 / 20	7.8	8.7	-0.9	-0.9
3 文法	22 / 30	12.3	13.3	-1.0	-0.9
4 英文	33 / 40	18.3	22.8	-4.5	-4.5
5 長文総合読解	45 / 50	24.1	29.7	-5.6	-5.6
6 長文総合読解	36 / 40	17.7	19.8	-2.1	-2.1

## 2. 設問別成績

分野ごとの成績や、どの分野でライバルと差があったのかを確認しましょう

- 各科目の設問別の成績や、成績を基にした学習アドバイスを表示しています。
- あなたと同じ学力レベル層 (S~Fレベル) の平均点とあなたの得点を比較して、最も良かった設問に○、悪かった設問に▲を表示しています。
- 第1志望について、あなたの評価より一段階上の判定者との成績比較を表示しています。

## 3. 志望校別成績・評価

志望校までの距離やライバルの中での位置づけを確認しましょう

- 志望大学・学部・学科の総志望者の中での、あなたの位置づけを示しています。
- 評価では、学習到達度の度合いを下の5段階で表示しています。

A: この調子で頑張れば合格圏内 D: まだまだ努力が必要、頑張りましょう。  
 B: もうひとふんばりで合格圏内 E: 志望大学へ向けて、まず基本事項の総復習を行いましょう。  
 C: これからの努力次第、弱点を克服しましょう。 H: 教科不足による国公立大参考評価

## 全統高1模試 個人成績表 第2面【秘】

科目	学力要素区分	あなたの得点率 (%)	全国平均得点率 (%)	校内平均得点率 (%)	平均得点率の差 (%)	あなたと同じ学力レベル層との比較	
						平均得点率 (%)	差 (%)
英語	知識・技能	72.0	40.8	45.5	68.4	3.6	知識
	思考力・判断力	64.0	44.1	52.4	79.7	4.3	思考力
数学	知識・技能	66.7	33.8	33.9	50.1	16.6	知識
	思考力・判断力	45.2	40.3	31.0	60.7	-15.5	思考力
国語	知識・技能	69.4	37.2	22.2	62.3	7.1	知識
	思考力・判断力	75.9	66.1	65.1	76.5	-0.6	思考力
理科	知識・技能	44.2	35.6	35.2	44.8	-0.6	知識
	思考力・判断力	47.7	35.1	36.3	43.6	4.1	思考力

科目	学力要素区分	あなたの得点率 (%)	全国平均得点率 (%)	校内平均得点率 (%)	平均得点率の差 (%)	あなたと同じ学力レベル層との比較	
						平均得点率 (%)	差 (%)
数学	1 (5月)	52.8					
	2 (8月)	56.3					
	3 (11月)	55.8					
	4 (1月)	57.1					

## 4. 成績推移

学習成果の長期的な推移を確認しましょう

- 今年度の第1~4回全統高1模試の成績推移を表示しています。

## 5. 学力要素別成績

どの学力要素でライバルとの差があったのか、自身の弱点を確認しましょう

- 教科別・学力要素別の得点率と、全国や校内の平均得点率を表示しています。
- あなたと同じ学力レベル層 (S~Fレベル) の平均得点率と、あなたの得点率を比較できるように表示しています。

## 個人成績表の見方<注釈>

### 1. 成績概況

■学カレベルの定義は以下の通りです。

S : 偏差値 65.0 以上	D : 偏差値 45.0 ~ 49.9
A : 偏差値 60.0 ~ 64.9	E : 偏差値 40.0 ~ 44.9
B : 偏差値 55.0 ~ 59.9	F : 偏差値 40.0 未満
C : 偏差値 50.0 ~ 54.9	

■総合1は、1型：英数型、2型：英国型、3型：英数国型の各受験型の母集団での位置づけを示します。「偏差値」は、全受験科目の偏差値の平均値です。

■総合2は、文系または理系別の位置づけを示します。理系・文系の区分けは英数国型生は受験届のマークによります。また、英数型生は理系、英国型生は文系とします。成績は、理系は英・数、文系は英・国の偏差値の平均値を用い、それぞれの全受験者の中での順位および平均点を表示しています。

■校内成績欄の母集団は、在籍高校です。偏差値は母集団が20名以上の場合のみ表示しています。

※校内順位は全国偏差値をもとに順位づけしています。

### 2. 設問別成績

■第1志望校の一段階上の判定者との成績比較とは、例えばあなたがC判定であれば、B判定者の平均点との比較になります（A判定の場合はA判定者の平均点との比較になります）。母集団は国公立大は出願予定者、私立大は総志望者です。一段階上の判定者が一人もいない場合は表示されません。

### 3. 志望校別成績・評価

■「学部・学科内の順位」では、志望大学・学部・学科の総志望者の中での、あなたの位置づけを示します。

■「評価偏差値」

国公立大については、英・数・国の3教科の偏差値の平均値を使用しています。

ただし、3教科受験していない場合でも、2教科を受験していれば、参考として「H」を付して評価を行います。ただし、順位は表示されません。

私立大・短期大については、学科内容から文・理分けを行い、理系は英・数、文系は英・国の偏差値の平均値を使用します。

ただし、上記の教科を受験していない場合でも、2教科を受験していれば、参考として評価を行います。

※1教科しか受験していない場合は、評価は行わず、順位も表示されません。

■「評価」では、志望大学に合格するために必要な学力がどのくらい身につけているのかの、学習到達度の度合いの「評価」を以下の5段階で表示しています。

- |                                  |
|----------------------------------|
| A : この調子で頑張れば合格圏内                |
| B : もうひとふんばりで合格圏内                |
| C : これからの努力次第、弱点を克服しましょう。        |
| D : まだまだ努力が必要、頑張りましょう。           |
| E : 志望大学へ向けて、まずは基本事項の総復習を行きましょう。 |
| H : 教科不足による国公立大参考評価。             |

詳しくはこちらの該当模試のページからご確認ください。  
[www.kawai-juku.ac.jp/zento/statistics/](http://www.kawai-juku.ac.jp/zento/statistics/)



### 4. 成績推移

■今年度の第1～4回全統高1模試の各教科・英数国の総合成績の偏差値を棒グラフで表示しています。学力伸長度・学習成果の長期的な変化を確認できます。今後の学習対策に役立ててください。

### 5. 学力要素別成績

■今回の模試で出題された各問題が主にどんな学力を問うているのかを、学力を「知識・技能」「思考力・判断力」「表現力」の3要素に分類し、学力要素ごとの成績（得点率）を表示しています。選択問題が出題されている場合は、選択パターンごとに集計しています。

## ◆総合成績表 受験者総数 39,028名

英数(理系)、英国(文系)は、文理別の全受験者を母集団としています。

	配点	平均点	標準偏差	平均偏差値	最高点	最低点	人数
英数型	400	169.9	-----	50.4	352	17	496
英国型	400	148.3	-----	46.7	342	46	126
英数国型	600	254.9	-----	50.0	557	8	38357
理系英数	400	177.7	-----	51.5	388	2	21297
文系英国	400	166.8	-----	49.5	370	12	17682

※全国の受験者の中での位置を教科・科目別／志望別に確認できる「教科科目別成績順位表」「受験型別総合偏差値順位表」や、選択した志望校以外の大学・学部・学科の二次試験・一般試験の合格可能性が確認できる「合格可能性評価基準一覧」を、河合塾ホームページに掲載しています。  
[www.kawai-juku.ac.jp/zento/statistics/](http://www.kawai-juku.ac.jp/zento/statistics/)

スマートフォンの方は  
こちら



## ◆科目別成績表

この模試に何人参加し、平均点はどれくらいであったのか、自分の成績は平均点よりどれほど差があったのか、また最高点はどれくらいあったのかを教科・科目別に読みとれます。自分の結果と照らし合わせ、攻略すべき教科・科目を確認してください。

	配点	平均点	標準偏差	平均偏差値	最高点	最低点	人数
英語	200	82.8	36.5	50.0	200	0	38988
数学	200	84.4	36.2	50.0	200	0	38880
数学必須	150	67.9	29.2	50.0	150	0	38880
数学選択	50	16.7	10.5	50.0	50	0	38488
国語	200	87.6	32.5	50.0	197	0	38503
現代文	140	62.4	23.5	50.0	137	0	38503
古文	60	25.3	12.3	50.0	60	0	38503

## ◆教科科目別設問別成績表

設問ごとの平均点はどれくらいであったか、自分の成績と比べ、平均点との差に注目してください。  
その結果から、弱点分野を確認し、今後の学習に役立ててください。

## 英 語

設問	設 問 内 容	配点	平均点 全 体	標 準 偏 差	最高点	最低点	人 数 全 体
トータル		200	82.8	36.5	200	0	38988
1	リスニング	30	11.1	6.6	30	0	38988
2	語い・熟語	20	8.9	4.1	20	0	38988
3	文法	30	11.7	6.5	30	0	38988
4	英作文	30	14.1	7.4	30	0	38988
5	記述式長文総合読解問題	50	17.3	11.6	50	0	38988
6	客観式長文総合読解問題	40	19.7	9.8	40	0	38988

## 国 語

設問	設 問 内 容	配点	平均点 全 体	標 準 偏 差	最高点	最低点	人 数 全 体
トータル		200	87.6	32.5	197	0	38503
1	現代文（評論の読解）	80	34.9	15.7	80	0	38503
2	現代文（随筆の読解）	60	27.5	10.9	60	0	38503
3	古文（説話の読解）	60	25.3	12.3	60	0	38503

数 学 \*数学の①・②・③は、必須問題です。④・⑤は、選択問題です。

設問	設 問 内 容	配点	平均点 全 体	標 準 偏 差	最高点	最低点	人 数 全 体
トータル		200	84.4	36.2	200	0	38880
1	中学範囲 小問集合	40	28.6	8.7	40	0	38880
2	中学範囲 関数・図形	60	22.9	13.8	60	0	38880
3	数学 I 数と式	50	16.4	12.8	50	0	38880
4	数学 I 数と式	50	15.8	10.3	50	0	20913
5	数学 I A 集合および場合の数	50	17.7	10.6	50	0	17575

## 小問（単位問）別平均点＜英 語＞

英 語

受験者数： 38988 人

設問 No.	設問内容	配点	平均点	小問No.	配点	平均点	知識技能	思考力判断力	表現力				
1	リスニング	30	11.1	1. A (1) (a)	2	0.1	○						
				1. A (1) (b)	2	1.3	○						
				1. A (2) (a)	2	0.1	○						
				1. A (2) (b)	2	0.9	○						
				1. A (2) (c)	2	0.7	○						
				1. B (1)	4	1.3		○					
				1. B (2)	4	2.5		○					
				1. B (3)	4	1.1		○					
				1. C (1)	4	1.7		○					
				1. C (2)	4	1.4		○					
				2	語い・熟語	20	8.9	2. A (1)	2	1.0	○		
								2. A (2)	2	0.9	○		
								2. A (3)	2	0.8	○		
								2. A (4)	2	1.2	○		
2. A (5)	2	0.6	○										
2. B (1)	2	0.8	○										
2. B (2)	2	1.0	○										
2. B (3)	2	1.5	○										
2. B (4)	2	0.4	○										
2. B (5)	2	0.6	○										
3	文法	30	11.7					3. A (1)	3	1.3	○		
								3. A (2)	3	1.4	○		
								3. A (3)	3	0.8	○		
								3. A (4)	3	1.0	○		
				3. A (5)	3	1.2	○						
				3. A (6)	3	1.0	○						
				3. A (7)	3	1.8	○						
				3. B (1)	3	0.5	○						
				3. B (2)	3	0.8	○						
				3. B (3)	3	1.8	○						
				4	英作文	30	14.1	4. A (1)	3	1.6	○		
								4. A (2)	3	1.6	○		
								4. A (3)	3	2.3	○		
								4. A (4)	3	2.3	○		
4. A (5)	3	0.4	○										
4. B	8	1.7	○										
4. C	7	4.2						○	○				
5	記述式長文総合読解問題	50	17.3	5. 問1	10	3.5	○						
				5. 問2	5	1.4	○						
				5. 問3	5	2.8	○						
				5. 問4	5	1.4	○						
				5. 問5	8	4.0	○						
				5. 問6	5	1.9	○						
				5. 問7	12	2.3	○						
6	客観式長文総合読解問題	40	19.7	6. A. 問1	5	0.9	○						
				6. A. 問2	5	3.5	○						
				6. A. 問3	5	1.6	○						
				6. A. 問4	5	2.8	○						
				6. A. 問5	5	2.1	○						
				6. B	15	8.8	○						

## 小問（単位問）別平均点＜数 学＞

数 学

受験者数： 38880 人

設問 No.	設問内容	配点	平均点	小問No.	配点	平均点	知識技能	思考力判断力	表現力				
1	中学範囲 小問集合	40	28.6	1 (1) (i) ア	5	4.0	○						
				1 (1) (ii) イ	5	2.9	○						
				1 (2) (i) ウ	5	4.2	○						
				1 (2) (ii) エ	5	3.2	○						
				1 (3) (i) オ	5	4.9	○						
				1 (3) (ii) カ	5	2.9	○						
				1 (4) (i) キ	5	4.4	○						
				1 (4) (ii) ク	5	2.1	○						
				2	中学範囲 関数・図形	60	22.9	2 [1] (1)	5	4.3	○		
								2 [1] (2)	8	6.0	○		
2 [1] (3) i	8	1.1						○					
2 [1] (3) ii	9	0.1						○					
2 [2] (1)	8	5.5	○										
2 [2] (2)	10	4.3	○										
3	数学 I 数と式	50	16.4	2 [2] (3)	12	1.5		○					
				3 (1) (i)	6	5.2	○						
				3 (1) (ii)	10	5.3	○						
				3 (2) (i)	8	3.2	○						
				3 (2) (ii)	12	2.2	○						
				3 (2) (iii)	14	0.6		○					
4	数学 I 数と式	50	15.8	4 (1)	6	5.2	○						
				4 (2)	10	5.4	○						
				4 (3)	10	3.2	○						
				4 (4)	10	1.8		○					
				4 (5)	14	0.2		○					
5	数学 I A 集合および場合の数	50	17.7	5 (1)	12	9.7	○						
				5 (2)	15	6.4	○						
				5 (3) (i)	10	1.0		○					
				5 (3) (ii)	13	0.5		○					

# 小問（単位問）別平均点＜国 語＞

国 語

受験者数： 38503 人

設問 No.	設問内容	配点	平均点	小問No.	配点	平均点	知識 技能	思考力 判断力	表現力
1	現代文（評論の読解）	80	34.9	1.問1.a	3	0.5	○		
				1.問1.b	3	1.0	○		
				1.問1.c	3	1.4	○		
				1.問1.d	3	1.3	○		
				1.問1.e	3	1.9	○		
				1.問2	4	1.4		○	
				1.問3.Ⅲ	3	2.2	○		
				1.問3.Ⅳ	3	0.7	○		
				1.問4	7	4.7		○	
				1.問5	6	1.7		○	
				1.問6	14	5.1			○
				1.問7	6	4.8		○	
				1.問8	7	2.9		○	
				1.問9(i)	7	1.8		○	
				1.問9(ii)	8	3.3		○	
				2	現代文（随筆の読解）	60	27.5	2.問1.a	2
2.問1.b	2	1.9	○						
2.問2.x	3	0.6	○						
2.問2.y	3	1.0	○						
2.問3	6	4.4						○	
2.問4	16	6.0							○
2.問5	8	1.9						○	
2.問6	8	3.4						○	
2.問7	8	4.3						○	
2.問8	4	3.0	○						
3	古 文（説話の読解）	60	25.3	3.問1.X	2	0.8	○		
				3.問1.Y	2	1.3	○		
				3.問2.a	2	0.7	○		
				3.問2.b	2	1.6	○		
				3.問2.c	2	0.4	○		
				3.問3	2	0.7	○		
				3.問4.2	4	1.9	○		
				3.問4.6	4	0.8	○		
				3.問5.3	4	3.4		○	
				3.問5.4	4	2.5		○	
				3.問6	6	1.7		○	○
				3.問7	10	2.3		○	○
3.問8	6	2.4		○					
3.問9	6	2.7		○					
3.問10	4	2.1	○						

## 学習対策

ここでは教科・科目ごとにポイントとなる問題を取り上げ、その問題の概要と正解を導くために必要な力についてコメントをしています。今後の学習のアドバイス等も記してありますので、自分が受験した教科・科目を確認して復習に役立てましょう。

なお設問別アドバイス、採点基準、学力要素一覧表は、模試ナビ(河合塾 全統模試学習ナビゲーター)に掲載していますので、確認してください。

## 英語

英文法の知識や表現を正確に身につけよう！

### 第4問 B 指定英作文問題

読む・書く・聞く・話すの4技能において、「書く」力を判断する英作文問題であるが、国立大、私立大を問わず、与えられた日本語を英訳する指定英作文や与えられたテーマについて英文を書く自由英作文が出題される。また、英作文は自身が正確に英語を身につけているかを判断する適切な尺度ともなる。

今回の第4問Bでは、「夜に大声で話さないようにあなたの弟に言ってください」(Please tell で始めて)を英訳する問題を出題した。まずは、「言ってください」であるが、指示通り tell を用いることになる。tell には、tell O that S V ... 「Oに…を伝える」の形でOに伝達内容を伝えたり、can tell O の形で「Oがわかる」という認識を表したり、tell O to do 「Oに…するように言う」の形で命令を表したりとさまざまな用法がある。本問では、弟に対して命令することになるので、tell O to do を用いることになる。次に、「大声で」は loudly や in a loud voice が自然な表現である。「大声で」ではなく「声を出して」という意味の aloud と混同しないように心がけたい。また、loud は通例、形容詞として用いることも覚えておこう。最後に、「夜に」であるが前置詞に注意したい。「夜に」は at night が標準的な表現で、in (the) night や at the night などとならないことに注意してほしい。

### 第5問 長文総合問題 過去分詞の知識と名詞節の処理を問う問題

英文和訳に関しては、英語の知識ばかりでなく、対象となる英文の文脈やその背景を理解する力、さらには日本語の運用能力も必要となる。

今回の大問5の間7では、The data collected by his team provide information about when and why hydrogen gas causes explosions. 「彼のチームによって収集されたデータは、いつそしてなぜ水素ガスが爆発を引き起こすのかについての情報を提供している」を和訳する問題を出題した。この問題のポイントは、The data が主語で、provide が述語動詞で、information が目的語であること、さらには、collected by his team が過去分詞による形容詞句で the data を後置修飾していること、when and why hydrogen gas causes explosions が名詞節で間接疑問文となっていることである。ここで陥りやすい間違いは、provide ではなく collected を動詞として訳出することである。直後に by があることや collect が「…を収集する」という他動詞なので目的語がないことから述語動詞としては不自然だという判断が必要である。分詞による後置修飾は直前の名詞に修飾させて訳すことが基本である。また、when and why の訳出も間違いやすい。ここでは間接疑問文となっているので疑問詞として「いつそしてなぜ」と訳すべきである。正しい訳文を作る手順としては、何よりも与えられた英文の文型が何文型になるのかを把握し、骨格となる日本語を作り、その後に修飾関係などを考えることである。

## 数学

具体的に考えてみよう

### 第3問 (2)(iii) 数と式(実数・式の展開と因数分解)

(2)(iii)は  $\langle na \rangle \neq n \langle a \rangle$  を満たす2以上の整数のうち最小のものを求める問題である。

まず、 $a$  が正しく求められているか確認してほしい。 $k = \sqrt{5}$  のとき(\*)の2つの解は  $\sqrt{5} - 2$  と  $3\sqrt{5} - 7$  であり、 $3\sqrt{5} - 7 < 0 < \sqrt{5} - 2$  であるから、 $a = \sqrt{5} - 2$  である。

次に  $\langle na \rangle$ 、 $n \langle a \rangle$  の値を考えることになるが、まず見慣れない記号であるから、意味をしっかりと理解して考えよう。 $\langle a \rangle$  は  $a$  の小数部分である。ここでは、 $a$  の整数部分は0であるから  $\langle a \rangle = a$  であるという特徴がある。これより  $\langle na \rangle \neq na$  を満たす2以上の整数  $n$  のうち最小のものを考えればよい。 $\langle na \rangle$ 、 $na$  の値は、 $n$  を含むままでは考えにくいから具体的に  $n = 2, 3, 4, \dots$  と代入して、それぞれの値を比べることにより  $n$  を決定する。

このように、具体化すると状況が明確になる場合もあることを覚えておこう。

### 第4問 (4),(5) 数と式(1次不等式)

(4)は、 $x = -1$  が③を満たす  $a$  の値の範囲を求める問題である。(3)で求めた  $x$  の範囲に  $x = -1$  を代入して  $a$  の値の範囲を求める。その際  $a > 0$  と  $a < 0$  に場合分けして考えればよい。

(5)は、①、②、③を同時に満たす奇数  $x$  がちょうど2個存在するような  $a$  の値の範囲を求める問題である。まず、①、②を同時に満たす  $x$  の範囲の中にある奇数に着目して、③に奇数がちょうど2個含まれるように  $a$  の値の範囲を考えればよい。その際、数直線の利用が考えやすい。また、等号が含まれるかどうかを丁寧に考えよう。

しっかりと基本となる考え方を身につけ、思考力が発揮のできるよう『学習の手引き』を参考にしっかりと学習しよう。

# 国語

## 【現代文】

言葉の知識を身につけよう／設問の要求をしっかりと捉えよう

### 第一問 問一 記述問題／第二問 問四 記述問題 漢字の読み書きの力を問う問題／解答を構成する力を問う問題

第一問の問一は、漢字の書き取り問題だが、出来は非常に悪く、全問正解していた答えはきわめて少なかった。たしかに易しい問題ではないかもしれないが、漢字そのものはすべて常用漢字である。おそらく出来の悪かった理由は、問われている熟語を知らず、そのために答えられなかったからなのだろう。漢字や言葉についての知識は、読解力の根幹となるものである。今回の問題で正解できなかったものについてしっかりと覚えるようにすることはもちろん、日頃から、言葉についての知識を積極的に身につけることに努めてほしい。

第二問の問四は記述問題とはいえ、さほど難しい問題ではないはずなのだが、出来はあまりよくなかった。その理由は、設問の要求をきちんと捉えていないと思われる答案が多かったからであろう。設問は「『弟子が生けた花』が『小ぢんまりしてしまう』のに対し、『師匠』の『生ける花』が『堂々として大きく見える』のはどうしてか」という問いかけになっているのだから、必然的に解答は、〈弟子は……ができないが、師匠は……ができるから〉といったかたちになるはずである。にもかかわらず、師匠についての言及しかなかったり、「師匠」「弟子」という言葉がないためどちらがどちらについての説明なのかわからなくなったりする解答が多かった。また、単に〈生け花とはこれこれこういうものだから〉と答えるというような、的外れな解答も少なくなかった。とくに記述問題に答える際には、設問をよく読んで、何が問われているのか、どう答えればよいのかといったことをしっかりと確認し、その上で答えを作ることが重要である。

## 【古文】

古文読解の基本を理解しよう

### 第三問 問七 記述問題

内容を読み取る力を問う問題／解答を構成する力を問う問題

第三問の問七は、傍線部「ねたがりけれども」について、下衆たちが何に気づいて悔しがったのか、その内容を問う問題だった。本文の内容を丁寧に辿り、しっかりと展開を押さえた上で、直前に記される下衆たちの発言から気づいた内容を正しく把握することが求められる問題である。

古文読解は、現代では用いられなくなってしまった語(=古文特有語)や古代と現代で語意が変わってしまった語(=古今異義語)を、「古語知識」としてしっかりと覚えた上で、現代語と異なる「文法事項」(用言の活用・助動詞や助詞の用法)を正しく理解して、一文一文、一語一句丁寧に現代語訳することが基本である。また、一般に「古典常識」と言われる知識も不可欠だ。古代と現代で変わってしまったのは「言葉」だけではなく、「文化」も大きく変化していることを理解しなければならない。

第一段落で、瓜を都に運んでいた下衆たちが、「私わたくしにこの下衆どもの具したりける瓜どものありけるを」切って食べる場面がある。「私」は一人称代名詞ではなく「私的に」、「具す」は「ともなう」の意であることを理解してはじめて、下衆たちが京に運ぶ瓜以外にも私物の瓜を持っていることがわかる。そして、その瓜を乞う翁に「この瓜は…私物にあらず」とうそをついたことをきっかけに、それを憎んだ翁が下衆たちの目をくらましてすべての瓜を盗み、自分も食べ、下衆たちをはじめ道行く人々にも食べさせたという展開につながっていくのである。翁が食べさせていた瓜は自分たちの瓜であったこと、翁が目くらましをしていたことに気づいた下衆たちは悔しがったが、あとの祭りであった。

本文をはじめから一語一句おろそかにすることなく、「古語」「文法」「古典常識」の知識をもって、細部に配慮しながら丁寧に解釈していくことが読解の前提である。文章を流し読みしたり、傍線部のみ着目するような読み方は決してしてはならない。日々の古文学習の中でしっかりと意識して練習をしてほしい。

「採点に関する問い合わせ」について

このたびは、第1回全統高1模試を受験していただきありがとうございました。  
 答案・個人成績表を見直した結果、今回の採点や得点に関して疑問や質問がある場合は、  
 以下の手順に従ってお問い合わせください。

①送付先

右の問い合わせ用紙に記入し、13ページに記載されている河合塾の営業部あてに郵送にてお送りください。なお、河合塾生(塾生として申し込んだ高校グリーンコース生)の方は、所属校舎へご提出ください。

②問い合わせ用紙の記入方法

太枠内をすべて記入してください。問い合わせ内容は記入例を参考に以下の事項を記入してください。

1. 科目名、大問・設問番号
  2. 内容に該当する項目(A～Eの記号を選択)
  3. 問い合わせ内容記入欄に、具体的な内容を補足
- \* 科目や項目が複数ある場合は、それぞれについて問題番号と内容を記入してください。  
 \* なお、志望校や氏名等、受験届に記入した内容の修正はできません。

③提出していただくもの

1. 「採点に関する問い合わせ用紙」  
 (提出前に必要事項にもれがないか、内容が具体的に記入してあるかを再度確認してください。)
  2. 「個人成績表」  
 (コピーでもかまいません。)
- \* ただし、Web返却対象者は必要ありません。

上記2点を同封し、封筒の表に朱書きにて「第1回全統高1模試 採点に関する問い合わせ用紙在中」と明記してお送りください。

- \* 答案については提出不要です。ただし、解答用紙番号をもとに河合塾にて答案データ照合を行いますので、お問い合わせ箇所と内容について、具体的に記入してください。  
 (不明点がある場合、確認のためにご連絡する場合があります。)  
 なお、お問い合わせ箇所をより正確に指摘するため、答案(コピー)に明示し、添付されてもかまいません。

④送付締切日

7月10日(木)到着分まで受け付けいたします。

⑤返送日

回答は、8月5日(火)頃発送の予定です。

【個人情報の取り扱いについて】

1. 問い合わせ用紙に記入された個人情報は、厳重に取り扱い適正な管理を実施します。
2. 利用目的 ・成績処理および成績返却  
 ・個人を特定できない方法による統計資料の作成

「採点に関する問い合わせ用紙」の記入・提出方法についてご不明な点は全統模試サポートセンターへお問い合わせください。

※河合塾生(塾生として申し込んだ高校グリーンコース生)の方は、所属校舎にお問い合わせください。

全統模試サポートセンター(12:00～19:30 日曜、祝日および12/31～1/3は受付を行いません。)  
 0120-977-558

\*全統模試サポートセンターでは、正確な応対と対応品質向上のため、通話内容を録音させていただいております。

2025年度 第1回全統高1模試 採点に関する問い合わせ用紙

\*太枠内をすべてご記入ください。

提出日 月 日

フリガナ氏名				受験会場名				
受験番号				個人成績表の解答用紙番号	—			
高校名				クラス名			クラス番号	
住所(連絡先)	〒 — ※マンション名、部屋番号まで記入してください。							方
電話番号	( ) —	携帯電話番号	( ) —					

\*お問い合わせの該当箇所・内容がわかるように、詳細に記入してください。

科目名	大問	設問番号	項目
(例) 数学 口	[5]	[2]	B

←該当する項目(A～E)を左に記入してください。

- A: 正答が×になっている。
  - B: 部分点が正しく与えられていない。
  - C: 採点されていない箇所がある。
  - D: 成績表の得点が、答案と異なる。
  - E: その他(下記に具体的に記入してください。)
- \*志望校や氏名等、受験届に記入した内容の修正はできません。

【問い合わせ内容記入欄】\*上の表に対する補足説明等をできるだけ詳しく記入してください。

(例) 数学 Pの座標が(6, 6)にある確率の説明箇所の部分点が与えられていない。

〔回答欄〕

回答者

受付日	受付者	返却日	返却者



## お問い合わせ先一覧

### ■模試について

- |                |                                    |
|----------------|------------------------------------|
| ①個人でお申し込みの方    | 河合塾全統模試サポートセンター 0120-977-558       |
| ②学校を通じてお申し込みの方 | 河合塾全統模試サポートセンター 0120-717-558       |
| ③河合塾生の方        | [高校グリーンコース生専用フリーダイヤル] 0120-751-577 |

\*河合塾全統模試サポートセンター/高校グリーンコース生専用フリーダイヤル(12:00~19:30 日曜、祝日および12/31~1/3は受付を行いません。)

### ■採点に関する問い合わせ用紙の記入・提出方法について

- |           |  |
|-----------|--|
| ①河合塾生の方   | 所属校舎   |
| ②河合塾生以外の方 | 河合塾全統模試サポートセンター 0120-977-558<br><a href="http://www.kawai-juku.ac.jp/zento/grades/request/">www.kawai-juku.ac.jp/zento/grades/request/</a> |



### ■採点に関する問い合わせ用紙の送付先 受付時間 9:00~17:00 (土日祝休み)

- |   |                  |
|---|------------------|
| 北海道営業 〒060-0809 札幌市北区北9条西3-3 (河合塾札幌校内)          | TEL(011)708-8584 |
| 【担当地区：北海道】                                      |                  |
| 東北営業 〒980-0014 仙台市青葉区本町2-6-27 (河合塾仙台校内)         | TEL(022)215-7581 |
| 【担当地区：青森・岩手・宮城・秋田・山形・福島】                        |                  |
| 関東営業 〒330-0846 さいたま市大宮区大門町3-67-2 (河合塾大宮校内)      | TEL(048)647-9581 |
| 【担当地区：茨城・栃木・群馬・埼玉・新潟・富山・長野】                     |                  |
| 首都圏営業 〒160-0004 東京都新宿区四谷1-6-2 四谷グローバルスタディスクエア6階 | TEL(03)6811-5532 |
| 【担当地区：千葉・東京・神奈川・山梨】                             |                  |
| 中部営業 〒464-8610 名古屋市中種区今池2-1-10 (河合塾千種校内)        | TEL(052)735-1511 |
| 【担当地区：岐阜・静岡・愛知・三重】                              |                  |
| 近畿営業 〒531-0072 大阪市北区豊崎3-13-1                    | TEL(06)6372-5731 |
| 【担当地区：石川・福井・滋賀・京都・大阪・兵庫・奈良・和歌山・鳥取・岡山・徳島・香川・高知】  |                  |
| 中四国営業 〒732-0057 広島市東区二葉の里1-1-50 (河合塾二葉の里オフィス2階) | TEL(082)264-4581 |
| 【担当地区：島根・広島・山口・愛媛】                              |                  |
| 九州営業 〒810-8619 福岡市中央区渡辺通4-2-11 (河合塾福岡校内)        | TEL(092)714-5711 |
| 【担当地区：福岡・佐賀・長崎・熊本・大分・宮崎・鹿児島・沖縄】                 |                  |